



国民年金の 任意加入制度について

60歳までに老齢基礎年金の受給資格を満たしていない場合や、40年の納付済期間がないため、老齢基礎年金を満額受給できない場合などで、年金額の増額を希望するときは、60歳以降でも任意加入をすることが出来ます。(厚生年金保険、共済組合等加入者を除く)

ただし、申出のあった月からの加入となり、遡って加入することはできません。

任意加入をする条件

次の①～④のすべての条件

を満たす方が任意加入をすることが出来ます。

①日本国内に住所を有する60歳以上65歳未満の方

②老齢基礎年金の繰上支給を受けていない方

③20歳以上60歳未満までの保険料の納付月数が480月(40年)未満の方

④厚生年金保険、共済組合等に加入していない方

※年金の受給資格期間を満たしていない65歳以上70歳未満の方も加入出来ます。

※外国に居住する日本人で20歳以上65歳未満の方も加入出来ます。

詳しくは役場総務課住民係または渋川年金事務所 ☎027912211614 にお問い合わせください。

7月届出分 戸籍の窓口

うぶごえ

□お誕生おめでとうございます。

- ・大河原 角田 依歩ちゃん
直樹・依絵さんの子 6月20日生
- ・森下下 真下 輝星くん
直也・亜美さんの子 6月21日生
- ・常木 吉野 理月くん
智仁・真澄さんの子 6月26日生
- ・入原下 小林 侑生くん
亮・葉月さんの子 6月28日生
- ・藤井 小林 誠くん
繁・洋子さんの子 7月2日生

おくやみ

■ごめい福をお祈りいたします。

- ・赤城原2 木村 はつ子さん
71歳 7月16日没
- ・上内出 山田 千鶴さん
33歳 7月20日没
- ・赤城原1 八木 キヨさん
92歳 7月23日没
- ・森下中 青木 一雄さん
87歳 7月29日没

※掲載を希望されない方は、届出の際に申し出てください。

クイズキャッチボール

地域おこし協力隊として、新たに増田さんが着任しました。それでは問題です。村の地域おこし協力隊は○人になったでしょうか？

応募規定 ▶村に住んでいる人・勤めている人ならどなたでも応募出来ます。 ▶**賞品**：正解者の中から抽選で村商工会商品券500円分を差し上げます。 ▶**締切**：9月2日(月) ▶**応募方法**：問題の答えと、住所・氏名・年齢・広報しようわへのご意見を書き、次のいずれかによりご応募ください。

＜ハガキでの応募＞

〒379-1298 企画課「広報8月号」係

＜メールでの応募＞

kikaku@vill.gunma-showa.lg.jp

件名→「広報8月号」係

▷7号のクイズの答えは「アメリカ合衆国」でした。当選者は次のとおりです。

★該当者なし

昭和駐在所からのお知らせ

◎夏休み中の交通事故防止について◎

楽しい夏休み、でもちよつとの油断で楽しい行事が悲しい思い出に。そうならないよう、次のことに注意しましょう。

・運転手の皆さん

暑さによる疲れ、熱中症などの体調不良は、思わぬ事故につながります。運転中に違和感を感じたら、休憩をとるか、運転を交代してもらいましょう。また、路上では夏休み中の子どもたちが外で遊んでいます。子どもたちに十分注意し、思いやりと早めのブレーキを心がけましょう。

・二輪車の皆さん

二輪車事故で多いのが、カーブではみ出し、事故に遭うケースです。公道はレース場ではありません。速度を控え、安全運転を心がけましょう。

・自転車の皆さん

車やバイクの運転者が、暑さでぼんやりしていることもあります。また、特に群馬県は全自転車事故に占める、高校生の自転車乗車中の交通事故比率が他県より高く、そのほとんどがヘルメット非着用です。ヘルメットを着用し、周囲の状況に気を配った運転を心がけましょう。

・歩行者の皆さん

「自分の身は自分で守る」ことを意識しましょう。夜間出かけるときは、車の運転者が早く気付くよう反射材をつけましょう。

・保護者の皆さん

夏休みの子どもたちは、大人の目の届かない時間が多くなります。道路へ飛び出さない、信号が青でも車が止まってから渡る、自転車も一時停止の標識に従い必ず止まる等、繰り返し交通ルールを教えてください。

はつらつトーク

「最近の自分と仕事」



大竹 国光さん

(22歳・赤谷)

今回の登場者は、
金子 拓磨さん(22歳・常木)です。

幸せ太り？
いいえ、もともと(笑)

私は、昨年から実家に入り、農業をやらせてもらっています。知識も経験もなく始めたのですが、両親に教わりながら働き、一年と少しが経ちました。できることも少し増えてきたように感じます。新しいことができるようになるのは、何物にも代えられない喜びがあります。

さて、最近の私ですが、朝起きたとき自分の枕から知らないおじさんの臭いがして、恐怖を感じました。でも、よくよく考えると、その臭いの主は自分だと気づき、悲しみになりました。そのうえ、髭まで生やし、完全に「むくつけき」おじさんの仲間入りです。

仕事に置いては最近、畑へのマルチ敷きをさせてもらえるようになったのですが、思った通りにできず、自分の程を思い知らされています。それでも、少しずつですが改善されていく喜びと一緒に、自分の成長を感じ、充実して仕事できています。

終わりに、これからも昭和村で暮らし、昭和村で成長していけたら幸せです。

「消防団活動」

第5分団は昨年、消防ポンプ操法競技大会に出場し、多くの方から応援・激励をいただきました。毎日の練習において、そういった声援が選手をはじめサポートをする団員にとってとても支えになりました。大変ありがとうございました。

第5分団は永井地区にあり、新規の団員勧誘活動が非常に難しい状況にあります。地元に残る、残らないに関わらず、若い世代がおらず勧誘自体が行えないというのが現状です。その中で、分団長経験者の方に残っていたり、すでに退団された方々に自警団として消防団活動に協力してもらい、なんとか存続しているという状況です。

一人ひとりに対する役割が多い分、協力しあう必要があるので当分団は個々のつながりが非常に密になります。そのため、仕事やプライベートではつながらなかったであろう人たちとの関係は、消防団活動を通して得られたものの中でも貴重な財産です。ですので、そういったものを継承できるような消防団活動を行っていきたいと思っています。

はばたけ！ 昭和村消防団

消防団員やサポートしている方々の「生の声」をお届けします！



第5分団 分団長

諸田 智則さん

広報文芸

俳句

七不思議を巡る寺領や苔清水
水面に写つる螢のランデブー
山歩きほっと一息岩清水
葉も小枝も水欲しそうな日照りかな
人生は夢の如くや老いの春
夜詣や茅の輪に社務所の灯がゆれて

真下 章子
花茂 蚕声
藤井 君枝
梅沢 まつ
須藤 澄子
杉木 哲二

短歌

取り得なきわれと思へど飯を食ふ自然のままに春の息吸ふ
産まざれば鶏を処理せし父なりき灰汁すくひつつ囲炉裏に煮たり
もの言へば右耳寄せてくる友が歌を語りて笑み絶やさざり
「おばあちゃん誕生日だねおめでとう」孫より届くうれしきメール
手作業の飛騨古川の和らふそく伝統守る親子代代
三人の子残して死ねぬと亡くなりし母八十年の忌日の墓参
冷蔵庫の氷の落つる音あはれ今宵も涼し雨ふりしきる
朽ち果てて形を成さぬ小屋のありわれの通ひしそるばんの塾

堤 みゑ
倉澤美代子
板橋きみ江
倉澤さなへ
藤井 君枝
堤 あさ江
林 千恵美
和田ひとみ